

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	市営住宅管理運営費				
担 当 課 係 名	都市整備 課		住宅公園 係	作成者	高橋貞二
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	住宅団地、市営住宅の整備			
	主要施策	住宅の維持管理			79
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	5 項 住宅費	1 目 住宅管理費	
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市市営住宅条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	住宅困窮者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	住宅困窮者が的確に入居でき、良好な居住環境を保つ。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	住宅使用料の決定、入居者の募集、住宅使用料の徴収並びに市営住宅の維持管理。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	入居可能数	世帯	278	279	
	成果指標	入居率	%	97	98	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			14,786	10,731	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他		14,786	10,731	
		一 般 財 源		0	0	
	人 件 費 (B)		—	1,021	969	
		職 員 数	—	0.13	0.12	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	15,807	11,700	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	56,860	41,935	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	496	373	

【事務事業の今までの成果】

住宅困窮者が出来るだけ早く入居できるよう適切な募集に努めているが、必ずしも全員が入居できる戸数は確保されていない状況にある。ただ、入居者の要求には迅速に対応している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	老朽化した住宅については、建替え、耐震化等の改良、修繕、用途廃止など計画的に進めている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	維持補修を計画的に行ってもらいたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	維持補修を計画的に行い、良好な環境を提供しなければならないが、実行されていない現状である。使用料を徴収していることから計画的な補修が必要と考える。また、使用料の未納者がいることからC判定とした。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

計画的に維持補修を進める。
住宅使用料の計画的納付の徹底により、滞納額の減少に努める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	老朽化した施設を多く抱えているため、計画的な維持補修を行い、良好な環境を提供するよう事業の充実（拡大）が必要と考える。

一次評価診断図

